

平成 30 年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4 年間の目標 (平成 28 年度策定)	1 年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①国際理解教育のさらなる充実。 ②基礎学力の定着と応用力の伸長。	①国際理解を深めるための学習の機会を増やし、内容の充実を図る。 ②基礎力の定着と応用力の伸長を目指した授業研究を充実させ、内容の充実を図る。	①姉妹校訪問や国際理解研修講座を通して、異文化理解を深める。 ②「主体的、対話的で深い学び」を踏まえた「わかる」、「楽しい」授業づくりを目指し、教員研修等を通じてその実現を図る。	①姉妹校訪問や国際理解研修講座を実施し、参加生徒の 80%以上が満足し、理解を深めることができたか。 ②「生徒による授業評価」の「授業の充実感」「生徒主体の授業の工夫」等に関する項目の評価が改善したか。教員の研修会を実施できたか。研究授業等で主体的、対話的で「わかる」、「楽しい」授業づくりを実施し、全体で成果を共有できたか。					
2 生徒指導・支援	①社会的自立と社会性の育成。 ②豊かな人間性を培い、社会に貢献できる人材の育成。	①磯子モラル（社会人として求められる行動）を定着させる。 ②生徒主体の学校行事・部活運営によるリーダーシップを育成する。	①制服指導、交通指導などの指導を通して、生徒の規範意識の向上を目指す。 ②誰とでも笑顔で挨拶、笑顔でコミュニケーションをとれるようにする。 ③生徒が主体的に行事に参加し、リーダーとなれるような人材を引き出す。 ④部活動の活性化を図り持続できるよう支援する。	①生徒に適切な制服指導ができたか。また生徒にルールを守ることの重要性を指導できたか。 ②学校内外の方々と穏やかな関係が築けているか、和やかな対応ができてきているか。 ③委員会や生徒会執行部の活動を進めることができたか。 ④部活動継続率 80%以上であったか。					
3 進路指導・支援	①自己のより高い進路実現にチャレンジする生徒の育成。 ②職業的自立と将来を見据えたキャリア教育の充実。	①生徒一人ひとりの現状を把握し、より高い目標設定ができる進路支援を行う。 ②自己理解と適正を見極め、職業を通して自己実現できるよう支援する。	①進路実現を目指した進路相談やガイダンス、模擬面接を充実させ、進路に対する意識を高める。 ②職業意識を養うためにインターンシップ等の情報を積極的に発信する。	①進路に対する意識や興味を高めるガイダンスや模擬面接を適切に実施することができたか。 ②特に 2 学年の参加数が前年度を上回ったか。					
4 地域等との協働	①地域に根ざした学校を目指し、双方の教育力の最大限の活用。 ②地域防災との連携推進。	①本校の教育力を還元し、地域に貢献できる機会を充実させる。	①地域の行事にボランティアとして参加し、生徒の力を地域に還元する。 ②地域貢献デーに清掃活動を実施し、地域の美化に貢献する。	①小学校や高齢者設等の行事に 20 名以上の生徒を参加させられたか。 ②地域貢献デーの清掃活動に 30 名以上の生徒を参加させられたか。					
5 学校管理 学校運営	①事故・不祥事ゼロの実現。 ②再編・統合及び完校に向けた取組の推進。	①不祥事防止に対する研修会の充実を図り、職員の意識を高め不祥事ゼロを実践する。 ②完校記念事業を実施するとともに、再編・統合を視野に入れた具体的な取組を推進させる。	①研修会を通じて職員の危機管理意識を向上させる。 ②完校に向けての校内の施設整理を進める。 ③磯子高校の最後に相応しい完校記念事業を企画立案していく。	①ミスを事故等につなげないことができたか。 ②在校生の利便性は確保できているか。 ③職員・生徒・PTA のアイデアや意見を反映できたか。					